

旧玉名干拓施設(明丑・末広潮受堤防)の草刈り活動

令和5年10月28日(土)午前7:00から旧玉名干拓施設(明丑・末広潮受堤防)(熊本県玉名市)で行われた、横島町文化財保存顕彰会主催の旧玉名干拓施設の草刈り活動に約340名(うち会員136名)参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治20年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、すえひろびらき末広開、めいちゆうびらき明丑開、めいほうびらき明豊開及びだいほうびらき大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmにも及び、国の重要文化財にも指定されています。

本年度は、同施設の西側の明丑潮受堤防・末広潮受堤防(2.8km)を対象に、除草作業が行われました。

今年はコロナウィルス感染症の5類感染症移行に伴い、コロナ禍前と同様の通常開催となりました。参加者は早朝から集合し、各自持参した草刈り機、鎌などで、旧堤防に生えた雑草や雑木の除去、ゴミ拾い等を行いました。作業は秋晴れの空のもとで無事に済み予定時間内(9時まで)に対象範囲の草刈り活動を終えることが出来ました。

参加者の集合状況



草刈り作業状況



草刈り作業状況



草刈り作業完了

